

間質性膀胱炎患者の教育ツール妥当性に関する検討

Validation of instructional materials for patients with interstitial cystitis

森 由香子

Yukako Mori

大妻女子大学大学院 人間文化研究科 人間生活科学専攻 修士課程

キーワード : 間質性膀胱炎, 教育ツール, 食品リスト表

Key words : Interstitial cystitis, Instructional materials, Food list

1. 研究目的

海外の研究を基に作成された食品リスト表が、間質性膀胱炎日本人患者の症状緩和・予防を含めた満足度に寄与しているかを検討する。

●研究の学術的背景

間質性膀胱炎と診断された多くの患者は、長く辛い闘病生活をおくっている。その治療法について多くの研究が行われているが、いまだ確立されていない。そんな状況のなかで、海外の研究成果により、間質性膀胱炎に対する食事指導の重要性は明らかになっており、間質性膀胱炎の症状を増悪するもの、緩和するものとして食品の関与が考えられている。日本国内では、その海外の研究をもとに、酸性尿、高カリウム尿、高刺激尿をつくらないように教育ツールとして食品リスト表が医療施設ごとに様々作成されている。しかしながら、現在、日本国内の診療で使用されている食品リスト表は、海外の研究を元に作られた食品リスト表であるため、日本では摂取の機会が少ない食品が提示され、逆に、日本で摂取頻度の高い食品についての情報が提示されていないのが現状である。

●研究期間内に何をどこまで明らかにしようとするか

海外の研究をもとに作られた食品リスト表 (米国 interstitial cystitis association が示す症状を悪化させる食品、緩和させる食品に関する食品リストを所属する医療機関の泌尿器科医師が改変作成したもの等) を利用している患者へ質問票によるアンケート調査を実施し、海外での研究を元に作られた食品リスト表の妥当性を評価する。

次に、協力を得られた患者のアンケート調査か

ら海外の研究を元に作られた食品リスト表の問題点を抽出する。

●本研究の学術的な特色・独創的な点及び予想される結果と意義

海外の間質性膀胱炎と食事に関する先行研究を参考につくられている食品リスト表が、日本人間質性膀胱炎患者に対して、実際の症状緩和に寄与しているかを検討することで、現在つかわれている食品リスト表を改変し日本人の嗜好にあわせた食品リスト表を作成することができる。

その結果、患者の症状を増悪させる食品の摂取量や摂取回数をコントロールし、症状緩和、予防することが期待される。よって、本研究によって辛い思いをして過ごしている患者の生活の質を高めることができると思われる。

2. 研究実施内容

デザインは、横断研究。

食品リストは、米国 Internal Cystitis Association の報告を参考に作成された。

2017年7月1日～2018年3月の間で、所属先クリニックの泌尿器科外来を受診し、水圧拡張で間質性膀胱炎と診断された全成人女性患者を対象とした。6項目の質問票と9個の質問数により、食品リストの理解度、利用度、全体の満足度について3段階あるいは5段階評価し、症状に影響する飲食物、食べた経験の無いもの、イメージがわからない食品について記述式にてアンケート調査を実施した。

3. まとめと今後の課題

2018年3月の段階で、アンケート実施患者31名の集計、統計処理をおこなった。

(アンケートの目標数は50名のため、2018年7月まで継続して行っていく予定)

食品リスト表が症状緩和のための食品情報として理解しやすいと答えた患者が18名(58.1%)、利用しやすいと答えた患者が18名(58.1%)、全体的に満足と答えた患者は、20名(64.5%)だった。

また食品リストの飲食物の中で食事経験がないものがあつたと回答した患者が58.1%、食品リスト表と症状の増悪・緩和が一致すると回答した患者が32.3%だった。

また症状に影響する飲食物として症状を増悪させるものが、コーヒー、唐辛子、柑橘類、酢、酒、症状を緩和軽減させるものが、牛乳、水、ごはん、ヨーグルト、ジャガイモだった。

米国で作成された食品リスト表は、間質性膀胱炎日本人患者が食事をするときに役立ち、比較的満足度が高いことが推測された。しかし、食事経験がない、イメージがわからない飲食物も食品リストに含まれていること、患者によって症状と必ずしも合致していない飲食物もあることから、食品リスト表の飲食物の見直し、提示方法、利用方法について検討し、満足度を上げる更なる改定が必要である。

4. この助成による発表論文等

②学会発表

発表者名 森 由香子

発表タイトル 間質性膀胱炎患者の食事指導教育ツールにおける満足度に関する検討

学会名 第106回日本泌尿器科学会総会

発表年月日 2018年4月19日

発表場所 京都 国立京都国際会館

(発表確定)